

事務事業マネジメントシート  
(兼)予算編成資料・実施計画資料22年度事業 事後評価  
作成日 H 24 年 2 月 10 日作成

事務事業名	白根コミュニティー館運営管理事業	□ 実施計画事業	所属部局	教育委員会	単位番号	12367											
			所属課室	生涯学習課	課長名	新津 岳											
基本政策	V 個性と文化を育む都市づくり	□ 実施計画事業	所属担当	生涯学習担当	担当者名	小野晃利											
政策	22 生涯学習ネットワークの整備充実		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目							
				01	一般	1	0	0	4	0	3	1	1	0	0	2	
施策	35 生涯学習システムの推進		事業区分	□ 国の制度による義務的事業	□ 施設等維持管理事業												
				□ 県の制度による義務的事業	□ 補助金交付事業												
事業期間	□ 単年度のみ □ 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠	□ 市の制度による義務的事業	☑ その他の事業												
				□ 義務化されている協議会等の負担金													
事業の内容 【主な利用内容】 ・文化団体、生涯学習サークル等の活動 ・地域団体等の会議、研修				事業費の主な内訳 ( 22年度 )													
事務事業の概要				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)										
				消耗品費	18	施設維持管理委託料	27										
				食料費	3	その他借上料	37										
				光熱水費	271												
				修繕費	326												
				通信運搬費	38	計											720

## 1 現状把握(DO)

## (1) 事務事業の目的と指標

① 活動	市民が自主的な学習会等を開催している。
22年度活動実績	
23年度活動予定	市民が自主的な学習会等を開催している。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
	市民 この施設は白根地区の市民のみの対象ではないか? 施設 施設とは何か?
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
	市民が学習会や集会に利用できる。 施設がいつも使いやすい状態になっている。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
	市民がいつでもどこでも必要なときに生涯学習が行える環境を整える。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:講座等の開催数		回数
イ:維持管理施設数		
ウ:		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:利用者数		人数
イ:施設数		箇所
ウ:		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:学習会等利用者数		人数
イ:施設の修繕数		箇所
ウ:		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:施設が使いやすいと感じている人の割合		%
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	826	720	542	509	542	542	
	事業費計 (A)	千円	826	720	542	509	542	542	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	24	24	24	24	24	24	
	人件費計 (B)	千円	107	107	95	95	95	95	0
	(A)+(B)	千円	933	827	637	604	637	637	0
活動指標		ア:回数	598.0	600.0	600.0	600.0	600.0	600.0	
対象指標		ア:人数	5,118.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	
成果指標		ア:箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
上位成果指標		ア: %	42.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化 市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年の合併以前から、白根地区的地域集会施設、生涯学習活動施設として利用されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	近隣地域の公共施設の配置状況が変化(白根は一とふるセンターの返却、健康センターの新設)したため、利用状況の増減に注意する必要がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 「取り組みしていない」⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	指定管理者制度を導入するなど、管理運営のあり方について検討した。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	不整備であった消防計画等を見直し、適正管理に努めた。

事務事業名	白根コミュニティ一館運営管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 白根コミュニティ館の維持管理を行い、市民に安全で快適な施設を利用していただくことは、“生涯学習ネットワークの整備充実”に結びつく。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 平成20年度までは、指定管理者制度で管理した実績がある。今後も同制度や民間、NPO委託等を含めて検討が必要である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 白根コミュニティ一館の維持管理を行い、施設を快適に利用できる状態を保つことは、利用者に快適な生涯学習の場を提供することになるため、対象・意図は妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 利用者が特定の個人・団体に限られている。施設の老朽化により新しい利用者はあえてこの施設を選択せず新設の健康センターへの利用が多くなっている。これらの点から利用者の増大は「新しい施設が利用できないから『やむを得ず利用する』層での増大しか見込めない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 施設維持管理は、一本化することで効率性を追求できると思われる。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 稼働率も低くなく、年間のべ4,5千人が利用している施設であるため、他施設を紹介、振り分けをしても利用希望の重複等で支障があると思われる。特定の利用者ではない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設管理において職員の関与は最低限としており、これ以上の事業費削減は難しいと思われる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 維持管理を外部委託できれば削減の余地があるが、そもそも常駐の管理者を置かず、月に一度程度の巡回であるため現実的には外部委託も不可と思われる。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民は誰でも使用できる施設である。また、条例でも利用料の規程もなく受益者に負担を求める性質の事業ではない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公共関与の妥当性については、この施設は以前指定管理者から返された経過もあり、また運営面でも指定管理委託料を支払う方が経費拡大につながってしまった。そのため目的妥当性については特に考慮しない今後の方向性とする。また類似事業の「白根中央公民館運営管理事業(12523)」はH21年度まで利用していた「はーとふるセンター」閉鎖の影響を考慮し、この建物との併用運用をしたところである。利用状況を検討し、統一しても問題がなければどちらかに事業統一も検討する。ただし利用実績値が1年しかないためもう少しサンプル年数が必要と思われる。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性													
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)													
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)													
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)													
(2) 改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
成 果 水 準	コスト水準													
	削減		維持	増加										
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>												
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果													
①施設があることへの既得権意識をなくすことが必要である…住民意識	成果優先度評価結果													
②														
③														
	コスト削減優先度評価結果													
	(6)													